

平成29年12月25日

各関係機関の長 殿
関係各位

東北大学大学院薬学研究科長
根東 義則
(公印省略)

東北大学大学院薬学研究科（物性解析化学に関連する分野）の
教授候補者の公募について（依頼）

本研究科では、分子薬科学専攻 分子解析学講座 物性解析化学分野の担当教授が平成30年3月31日付けで退職しますので、その後任教授を公募することになりました。つきましては、下記の要領により候補者を公募いたしますので、関係方面への周知方をお願い申し上げます。

記

1. 職名：教授（1名）：物性解析化学に関連する分野を担当
2. 領域及び選考方針：
薬学における物性解析化学及びその関連領域（製剤・ナノ材料・センサー・高分子化学等を含む）において、先導的な研究を行い、大学院学生及び学部学生の教育に対する強い熱意と優れた能力のある方（薬学出身者に限定しない）。
3. 担当授業：
着任後は物性解析化学を中心とした講義・実習を担当していただきます。
なお、本分野は現在下記の講義・実習を担当しています。
○学部
「化学B」化学熱力学、相平衡と相図、化学反応速度論（1年生対象）
「物理化学2」溶液、界面の熱力学、電解質溶液、電池と電極反応（2年生対象）
「物理化学3」コロイド、高分子とゲル、界面活性剤、分子薄膜、リポソーム、エマルジョン、マイクロカプセル・ミクロスフェア、レオロジー、粉体（3年生対象）
「構造薬学実習」分担：物理化学実習（電極、酸解離平衡、紫外可視吸収）、（2年生対象）
○大学院
「分子解析学特論」（分担、大学院博士課程前期2年の課程1年生対象）

4. 本分野には現在、准教授は不在で、助教1名が在籍しています。

5. 提出書類

以下の書類を作成し、印刷物各1部（A4版またはレターサイズ）及びこれらを保存したCD1部をお送りください。

(1) 履歴書：氏名（ふりがな）、生年月日、所属機関及び職、所属機関の所在地（電話、FAX、電子メールアドレス）、自宅住所（電話、FAX）、学歴、学位、資格、職歴、賞罰を順に記載し、写真（パスポートサイズ）を添付する。

(2) 研究業績目録：応募者が主研究者のものに○を付し、原著論文、総説・解説、著書、招待講演・依頼講演、特許出願、学会等の受賞、新聞報道・プレスリリースを書式に従い作成する。

(3) 主要原著論文5編及び代表的な総説論文数編の別刷り又はコピー

(4) 科学研究費補助金等の競争的研究費（代表者として受けたその他の研究助成も含める）の取得状況（代表、分担の別を明記）を書式に従い作成する。

(5) これまでの研究概要（2000字程度）

(6) 着任後の研究に対する抱負（2000字程度）

(7) 教育に関する実績（1000字程度）

(8) 着任後の薬学教育（学部及び大学院）に対する抱負（1000字程度）

(9) 学会及び社会活動、教育教材、製品開発、その他選考の参考になる事項を書式に従い作成する。

(10) 応募者に関して問合わせのできる方2名の氏名・連絡先

6. 着任時期：選考終了後のなるべく早い時期

7. 書類提出期限：平成30年3月16日（金）（必着）

8. 書類提出先：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号

東北大学大学院薬学研究科長 宛

（なお、提出書類は封筒に「物性解析化学に関連する分野教授選考
応募書類」と朱書し、簡易書留にて郵送願います。）

9. 問合せ先：薬学研究科総務係 TEL: 022-795-6801

10. 参照ホームページ：<http://www.pharm.tohoku.ac.jp/saiyou/index.shtml>

5-(2), (4), (9)の書式はこちらからダウンロードください。

11. その他

(1) 選考の過程で、面接及びセミナーをお願いすることがあります。

(2) 推薦書は受理しません。

(3) 提出書類は、返却いたしません。

(4) 選考の過程に関する問合せには応じられません。

(5) 選考の結果は、選考委員長から書面で各応募者に連絡いたします。

(6) 着任後、分野名を変更することができます。

(7) 東北大学は男女共同参画を推進しております。

(<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>)

以上